

令和5年度 加古川市少年愛護センター運営協議会 会議録概要

会議名称	令和5年度 加古川市少年愛護センター運営協議会
開催場所	加古川市少年愛護センター 会議室
開催日時	令和5年6月16日（金曜日）15時から16時40分
出席者	委員：池田勝己（会長）、中尾裕彦（副会長）、松尾功、井上英也、山本普子、千堂千恵、徳田敬子、富田資之、山村けい子、塚田誠司 事務局職員：今津教育指導部参事 藤尾青少年育成課長 中塔少年愛護センター所長 飯島青少年育成課指導主事、今井青少年育成課指導主事、毛利青少年育成課指導主事
会議次第	1. 新委員への委嘱状及び任命通知書交付 2. 教育長あいさつ 3. 委員紹介（自己紹介）、会長・副会長選出 4. 加古川市少年愛護センター運営協議会 （1）開会あいさつ（会長） （2）加古川市少年愛護センター設置条例について （3）令和4年度加古川市少年愛護センター決算報告について （4）令和4年度加古川市少年愛護センター活動報告について ①少年補導・相談事業について ②有害環境浄化及び健全育成事業について ③青少年対策事業について ④少年愛護センター維持補修事業について （5）令和5年度加古川市少年愛護センター予算について （6）令和5年度加古川市少年愛護センター活動計画について ①少年補導・相談事業について ②有害環境浄化及び健全育成事業について ③青少年対策事業について ④少年愛護センター維持補修事業について （7）各委員より （8）教育長より 5. 閉会あいさつ（副会長）
配付資料	レジュメ <会議資料> 令和5・6年度 加古川市少年愛護センター運営協議会委員及び事務局名簿 加古川市少年愛護センター設置条例 令和4年度加古川市少年愛護センター関係事業費決算について 令和4年度加古川市少年愛護センター活動報告について 令和5年度加古川市少年愛護センター関係事業費予算について 加古川市自立支援教室「ふれ愛教室」実施要領 ネットパトロール実施要項 加古川市少年善行賞表彰規定 加古川地区学警察連絡・校外補導連盟規約

	<p>加古川市教育委員会生徒非行防止対策本部設置要綱          青少年追相談員制度実施要領          &lt;会議資料（別紙）&gt;          少年補導委員による街頭補導活動延べ人数表          痴漢・変質者・不審者等に関する資料（過去3年間の実績）          令和4年度 変質者等被害発生分布図          少年相談事業 内容別集計表（過去3年間の実績）          小・中学校年度別問題行動件数（過去3年間の実績）          令和4年度 ネットパトロール事業の取組について          令和4年度 有害環境浄化活動          令和4年度 教師による補導活動・家庭訪問活動・保護搜索活動          令和4年度 追相談員活動報告集計表          令和4年度 進路状況及び中退・離職集計表（非公開）          &lt;啓発資料&gt;          令和5年度活動のあらまし          少年非行チラシ          加古川市ケータイ・スマホアンケート調査結果チラシ          青少年追相談員啓発チラシ</p>
傍聴者	なし

会議要旨（発言者、発言内容、審議経過等）	
（参事）	<p>1. 新委員への委嘱状及び任命通知書交付            2. 教育指導部参事あいさつ            3. 委員紹介（自己紹介）、会長・副会長選出            4. 加古川市少年愛護センター運営協議会</p>
（会長）	<p>（1）開会あいさつ</p>
（事務局）	<p>（2）加古川市少年愛護センター設置条例について            事務局より、加古川市少年愛護センター設置条例について説明する。            ・第1条について            ・第3条について</p>
（事務局）	<p>（3）令和4年度加古川市少年愛護センター決算報告について            事務局より、令和4年度加古川市少年愛護センター関係事業費決算にについて報告する。</p>
（事務局）	<p>（4）令和4年度加古川市少年愛護センター活動報告について            ○少年補導・相談事業について            ○有害環境浄化及び健全育成事業について            ○青少年対策事業について            事務局より、各事業について報告する。  <u>※他の情報と照合することにより、特定の個人を識別する可能性があるため、非公表とした。</u></p>

<p>(事務局)</p>	<p><b>(5)令和5年度加古川市少年愛護センター予算について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度加古川市少年愛護センター関係事業費予算について、事業名、事業概要、令和5年度予算、令和4年度予算、増減、摘要の順に読み上げる。</li> </ul> <p>＜補足説明＞</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①少年補導・相談事業の大きく減額となっている部分は、報償費の部分である。昨年度は、少年補導委員報償費予算を167名分であっていたが、今年度は、少年補導委員定数の見直しに伴い、減額している。</li> <li>②有害環境浄化及び健全育成事業については、これまで、少年善行賞表彰式を行っていたが、先ほど報告した通り、今年度より、表彰式を行わないため減額している。</li> <li>③青少年対策事業については、市内各小中学校の先生方に任じていただいている補導活動、訪問相談活動費を増額している。家庭訪問等を行っていた分も対象となっており、コロナの分類が5類に移行したこともあり、今後も家庭と学校で「顔の見える関係づくり」へとつながればと思っている。</li> </ol>
<p>(事務局)</p>	<p><b>(6)令和5年度少年愛護センター活動計画について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業ごとに令和5年度の活動計画について説明する。</li> </ul> <p>＜補足説明＞</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①少年補導委員による街頭補導活動のうち特別補導については、今後の状況により、変更する可能性がある。</li> <li>②ネットパトロール事業については、毎月の情報共有となっているが、特別な事情がある場合、その都度、専門機関より情報提供がある。</li> <li>③少年愛護センター運営協議会については、令和4年度報告でお伝えした通り、令和5年度より年1回の開催となっている。</li> <li>④関係機関・諸団体との連携に関する研修・会議等については、状況により変更となる可能性がある。</li> <li>⑤少年善行賞については、表彰式は行わないが、審査委員会については、7月、11月、2月に行う予定としている。また、2月以降に推薦者があった場合は、その都度、対応する予定としている。</li> <li>⑥加古川地区学警連絡・校外補導連盟については、一回目の理事会は、昨年度書面開催としていたが、今年度は人権文化センターにて対面での開催を予定している。委員会については、7月、2月の開催を予定している。昨年度は、一回目は小学校を対象に、二回目は中、高、大学、養護学校、特別支援学校を対象にしており、参加者を分けて開催されていたが、今年度は、研修の機会を多く持つという目的で、一回目、二回目ともに全校種の生徒指導担当者に来ていただく予定としている。</li> </ol>
<p>(委員)</p>	<p><b>(7)各委員より</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的にも県下的にも、子どもの被害件数は減っているが、加古川市は増えており、身近に犯罪がある。</li> <li>・携帯電話を持っていない子どもも、兄や姉の使っていないものをおさがりとしてもらって使っていることもあり、やってはいけないことや、不適切なサイトも見えてしまう。フィルタリングをかけても、はずしてしまう。大人より子どもの方がスマートフォンに関する知識が豊富である。</li> <li>・今後も、折に触れて情報共有をお願いしたい。</li> </ul>

(委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォントラブルが多い。</li> <li>・児童ポルノ事案も発生している。</li> <li>・グループLINEトラブルからいじめに発展するケースも出ている。</li> <li>・学校へ行っての指導や個別に招致しての指導も行ってきた。</li> <li>・県下では小学生の児童ポルノ事案も発生しているため、関係機関と協力して、スマートフォンの使い方等は、小学生の頃から指導していく必要がある。</li> </ul>
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部に在住しているが、子どもが出歩いたり、コンビニで見かけたりすることもない。</li> <li>・資料から、下校時には、声かけ事案が発生していることがわかるため、地域としても、気にかけて下校時見ておくことが必要であると感じた。</li> </ul>
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、各中学校区で合同補導が行われており、小中学校の先生方と話をする機会がある。その中で、地域の公園で進んで掃除をしている保護者に対し、「いつもありがとうございます。」という中学生がいたことや、困っているご老人に対し、声をかけ、周りの大人に助けを求めて、困っているご老人を助けたという話等を伝えている。</li> <li>・これからも地域で子ども達を見守っていきたい。</li> </ul>
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンを持ちたいという子どもは増えているが、与えるだけではなく、与える前に保護者も子どもと一緒に勉強しなければならない。</li> <li>・先ほどの話で子どもの方が、保護者よりスマートフォンに対する知識が豊富になっている。学校ではChromebookを渡されており、それを使っての調べ学習等、学習形態も変わっている。その状況で、「スマートフォンを持つな」というのはナンセンスであるが、スマートフォンの「脳に対する影響」も脳科学で出ているため、「スマートフォンを持たせたらどうなるのか」といった部分を子どもだけでなく「保護者に教育する」機会を持つことが必要であると感じる。</li> <li>・先日自分の子どもが通う学校へ少年愛護センター指導主事が来て授業をしてくれた。学校の先生は子どもにとって「親しい、家族のような存在」のため、学校の先生以外の立場の人に話をしてもらうと、とても頭に入るようで、例えば、中学校の先生が、小学校へ行って話をする、地域の方が学校へ行って話をするといった「いつもと違う立場の人が話をする機会を持つこと」で問題行動への抑止や子どもの心に響く効果があると感じる。</li> </ul>
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児の問題行動はないが、まったく関係ないともいえない。理由としては、ゲームやLINE等は、上の兄弟が使っている姿をみているため、園児の頃からの情報モラル教室も考えていいのではないかと感じる。</li> <li>・ご褒美という形でインターネットに接続可能なゲーム機を購入してもらうこともあり、そこからインターネットに関わることになると感じる。</li> <li>・保護者も若くなっており、LINEの使い方等、保護者を対象にした研修や啓発を計画していく必要がある。</li> <li>・送迎の際、保護者と顔を合わせるため、その機会を通じて、保護者とも連携していきたい。</li> </ul>

<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年前には、非行の低年齢化が言われていたが、最近ではSNSトラブルがある。また本日の資料に出てきていることは、「全て小学校でもあり得ることである」という意識で日々神経をとがらせている。</li> <li>・「些細なことにとらえずにいじめとして重く捉え、事案を報告する」ことと同様に、小学校では、小さな（些細であると感じる）トラブルでも、問題行動として報告している。そのため、問題行動件数も中学校より多くなっている。数字だけみて、「荒れている」ということではなく、「しっかりと対応して報告している」ことも一因であると感じている。</li> <li>・戦いごっこ等の「ごっこ遊び」と生徒間暴力等の境目が難しい。</li> <li>・10年前は、中学校の生徒指導は、小学校では無理だと言われていたが、今はそう感じない。</li> <li>・組織的な対応をするためには、人員の配置が必要であるが、会計年度任用職員や生徒指導相談員等学校の先生以外の方が、どんどん学校へ入ってくれている。その方たちとうまく連携していけば、中学校の生徒指導対応のように組織的な対応も可能になると思っている。</li> <li>・例えば、生徒指導相談員等の方が野外活動や宿泊体験活動等で引率できるような予算や旅費があれば、より柔軟な対応もできる。そういった立場の方を小学校にも配置していただくとありがたい。指導主事に対し、夜の時間に対応していただいている部分への「市として」の身分や手当に充ててもらえたらありがたい。予算の出所は違うと思うが、先ほどの計画にあったもので減額の部分があるので、そういった部分に回してもらえるとありがたい。</li> <li>・派出所の方に相談後すぐに対応していただいたこともあり大変助かっている。</li> <li>・現況、様々な関係機関と連携を取りながら生徒指導対応を行っているが、引き続き、関係機関との連携を密にしながら対応していきたい。</li> </ul>
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加古川市の相談状況やトラブルの現状等大変よく分かった。</li> <li>・高校では、SNSトラブルが多いが、それよりもDVが増えている。DVについては、躊躇せずに積極的に警察へ通報するようにして警察と連携している。</li> <li>・事案に関しては、初動対応が全てであり、教職員の「想像力」が大切であるため、教職員には意識して伝えている。</li> <li>・これから、関係機関と連携して対応していくことが大切であると感じたため、心がけていきたい。</li> </ul>
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で学費を稼いでいる学生もいるが、より時給の高いアルバイトをしていると感じる。</li> <li>・志の高い学生が多いが、年々幼くなってきている印象を感じる。</li> <li>・地域や高齢者、小学校の元教員等、様々な立場の人から話を聞いたり、居場所づくりをしたりすることが大切であると感じる。</li> <li>・地域とのつながりが大切で災害時にも生きてくる。</li> </ul>
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもはやってはいけないとわかっているけどやってしまう。大人であれば、「こうしたらこうなるだろう」と予想しながら行動できるが、子どもはできない。また、頭ではやってはいけないとわかっているけど、友だちから言われるとやってしまう。止めるには、結果を大げさに子どもに教えることも必要であると感じる。</li> </ul>

<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAや町内会は必要ないと感じていたが、実際にやると、必要であると感じている。自分が小学生の頃、下校時に喧嘩をしていた等、集会で言われていたが、実は、地域からすぐに学校へ知らせてもらえるので、初動の早さにつながると感じている。</li> <li>・子どもだけでなく、大人も「ルールを守る」という心構えを持ってほしい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSやスマートフォンのトラブルが多く起こっているのが現状である。</li> <li>・公園を巡回しても、子どもより、年配の方が多という現状である。</li> <li>・一見、やんちゃな子は減っているが、心に問題を抱えている子は非常に多い。</li> <li>・警察や東播少年サポートセンター、教育委員会もよく対応してくれているが、校内では、スクールカウンセラー（以下SC）の枠が飽和状態となっている。</li> <li>・昨日、SCの方から、「子どもの話の聴き方」等の研修をしていただき、非常に好評だった。</li> <li>・自傷行為をする子も非常に増えている。</li> <li>・自殺企図等もあり、学校が相談体制のお願いすると、相談機関は、早期に対応してもらえるが、その先の医療機関との連携となると、非常に時間がかかる。一学校が、医療機関と交渉するとなると非常にやりにくく、可能であれば、教育委員会と医師会との連携を図っていただきたい。相談の中でも、緊急な場合、個別に対応してもらえるように取り付けてもらえたらありがたい。</li> <li>・関係機関やスクールソーシャルワーカー、SCとも連携して、それぞれの立場で救える子どもを救っていききたい。</li> <li>・校内でも、先生が言っていることが全て理解できない子や勉強が苦手な子もいる。認知機能が低い子たちへ支援できる手立てやシステムを作っていかなければならないと感じている。</li> </ul>
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響でいろいろな団体が解散している。そのため、地域での関係性も薄れているため、その点を心配している。</li> <li>・地域によって格差はあるが、おかしいと思うところは伝えながら、それぞれの立場で考えて、連携してやっていきたい。</li> </ul>
<p>(事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局一同、本日皆様方からいただいた意見、日頃から折にふれていただいている意見をもとに、加古川市の青少年の非行防止と健全育成に向け、関係各所と連携・協力しながら活動していきたいと思う。</li> </ul>
<p>(副会長)</p>	<p><b>5. 閉会あいさつ</b></p>